

## 8. 交通マスタープラン 『都市交通の未来のガイドライン』

### 8.1 マスタープラン策定

選定された第4案はマスタープランの基本原則を示したものにほかならない。これに実現性の観点から、以下の具体的な点について修正を加え、最終的なマスタープランとした。

- 1) 将来のあるべき都市構造の骨格形成（図8.1－図8.3）
  - ・ 中心部周回道路、内環状道路、中環状道路、外環状道路など環状道路を完結する。
  - ・ メトロの M4（1メイーラロメッテ）、M5（ドゥルムルタベレイーウニヴェルシタートゥライアン）、MR4（N.グリゴレスクーL.デ・チェントウラ）路線を放射軸として整備する。
  - ・ 新しいタイプのトラムを放射ならびに環状の幹線ルートへ導入する。
- 2) 副都心の育成
  - ・ ガラデノルテ、オボール、スドゥルイは商業を核とした副都心として育成する。
  - ・ これらの地点での公共交通機関乗り換え施設の整備を行う。
  - ・ 交差点を改良し交通流をスムーズにする。
  - ・ 駐車施設を整備し、将来の拠点としての育成に寄与することとする。
- 3) 都心の都市環境の改善
  - ・ 都心部への車の集中を避けるため、都心における交通需要管理を導入する。
  - ・ 駐車場の適正設置、違法駐車 of 厳正取り締まり等を含む駐車システムを導入する。
  - ・ 公共交通の充実を図る。
  - ・ 都心の文化的・歴史的地区において歩行者モール、歩道、緑地の整備をおこなう。

最終的なマスタープランの EIRR は 18.8%となり、フィージブルであることが示された。（表8.1）この場合の便益は時間短縮便益と走行費用節約便益から構成されているが、これに環境便益を含むと触媒方式エンジンの割合を 25%と仮定した場合は EIRR は 19.2%、B/C は 1.40、90%と仮定した場合は 21.2%ならびに 1.50 となる。触媒方式については 11.3 参照。

表 8.1 マスタープランの成果

| Item<br>Plan | Cost<br>(Lei billion) | Benefit*<br>(Lei billion) | EIRR<br>(%) | B/C<br>(Discount<br>rate of 12%) | Public<br>Transport<br>(Trips) | Private Car<br>(Trips) | Share of<br>Public<br>Transport<br>(%) |
|--------------|-----------------------|---------------------------|-------------|----------------------------------|--------------------------------|------------------------|----------------------------------------|
| Master Plan  | 34,128.8              | 4,675.4                   | 18.8        | 1.378                            | 3,684,352                      | 1,829,992              | 66.8                                   |

### 8.2 交通マスタープラン実施上の課題

- 1) 資金の確保
 

2015 年までの交通マスタープランにおけるプロジェクトの総投資額は 338 兆レイ（2,175 百万ドル）に達する。そのうち道路セクターの総投資額は 95 兆レイ（677 百万ドル）、公共交通セクターの総投資額は 239 兆レイ（1,498 百万ドル）である。総投資額のうち、1,832 百万ドルは比較的調達可能であるが、残りの 342 百万ドルの調達は容易ではない。パリでみられるような公共交通税の導入やコンセッション方式による民間資金の導入等の検討が必要である。
- 2) 関連法規・組織の改正
 

財源確保のために税制等の変更が検討されなければならない。また、交通マスタープランはインフラ整備ばかりでなく、駐車 of 規制、信号システムの改善、公共料金システムの改良、公共交通の合理的運営などソフトな施策も重要であるため、それらを統括・調整する機関の設立が必要である。

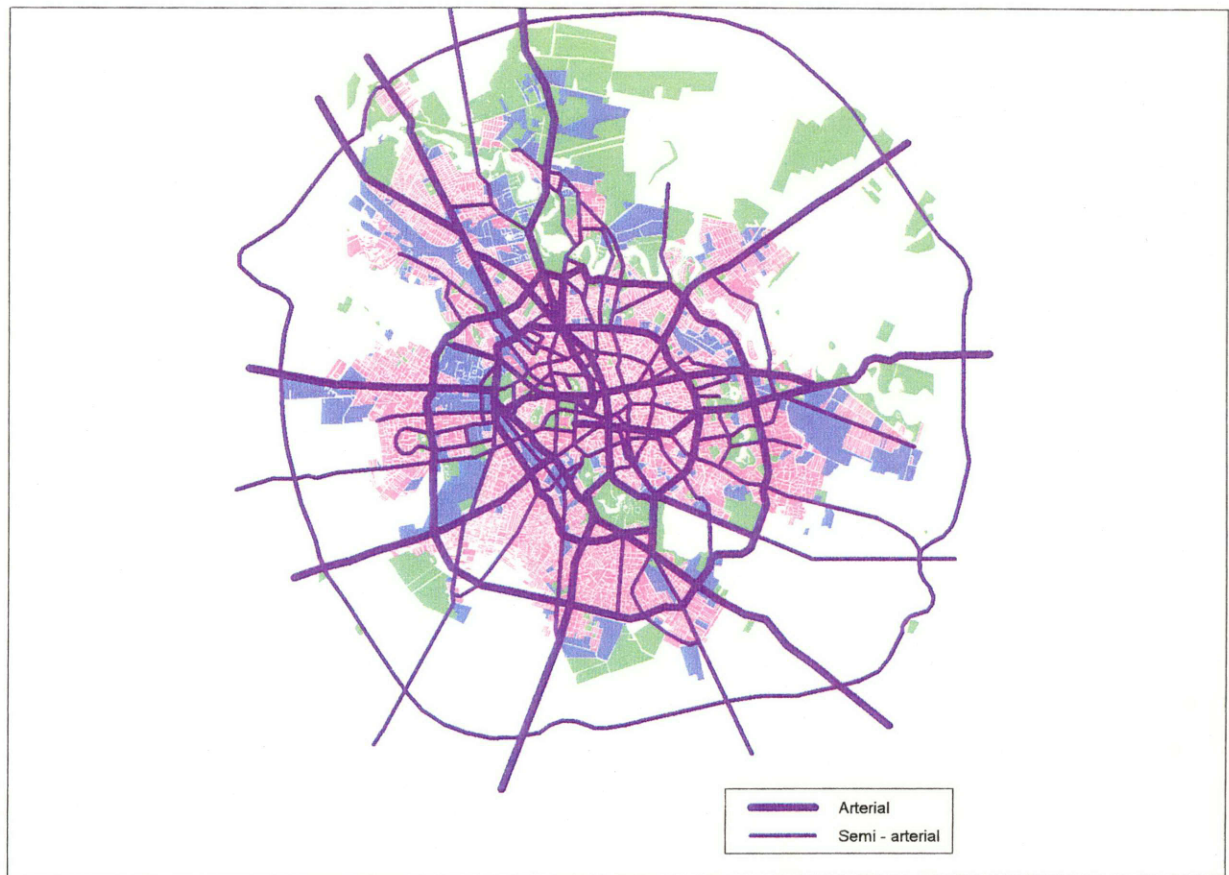


図 8.1 マスタープランにおける道路ネットワーク

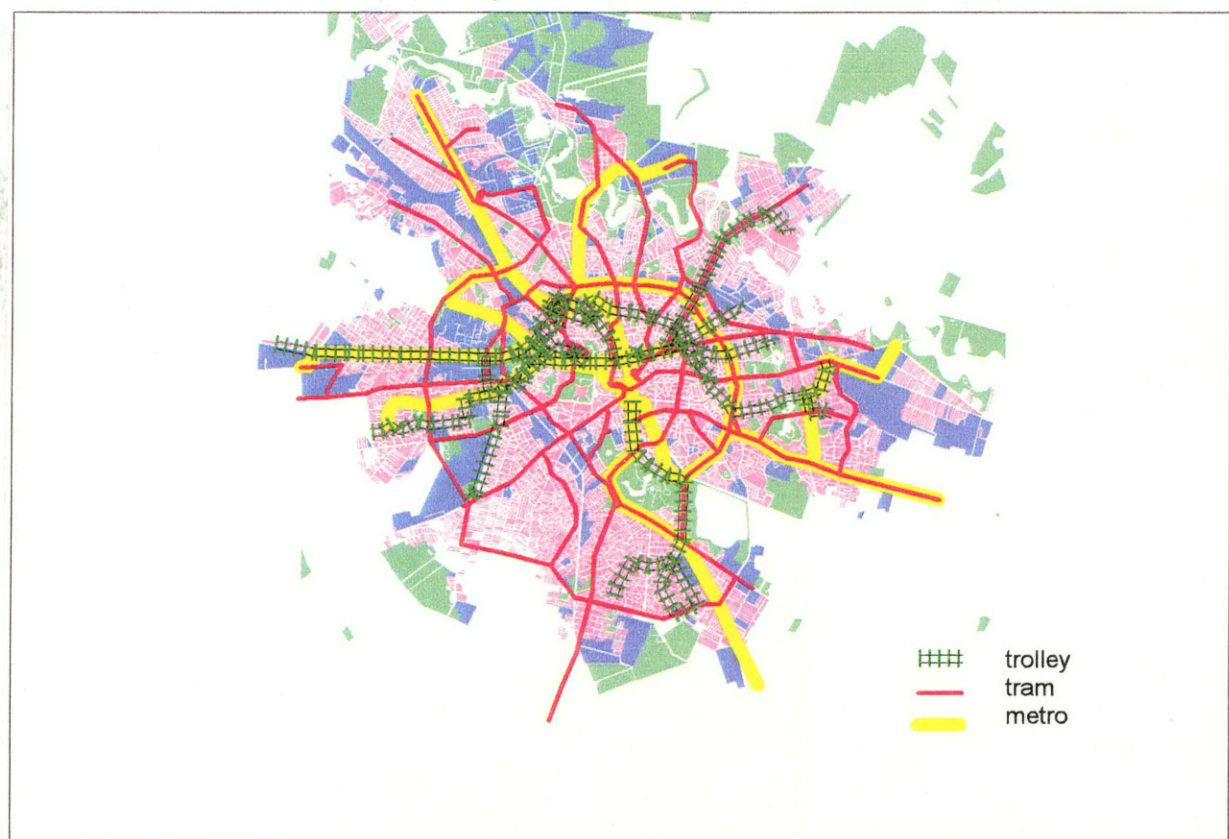


図 8.2 マスタープランにおける公共交通ネットワーク

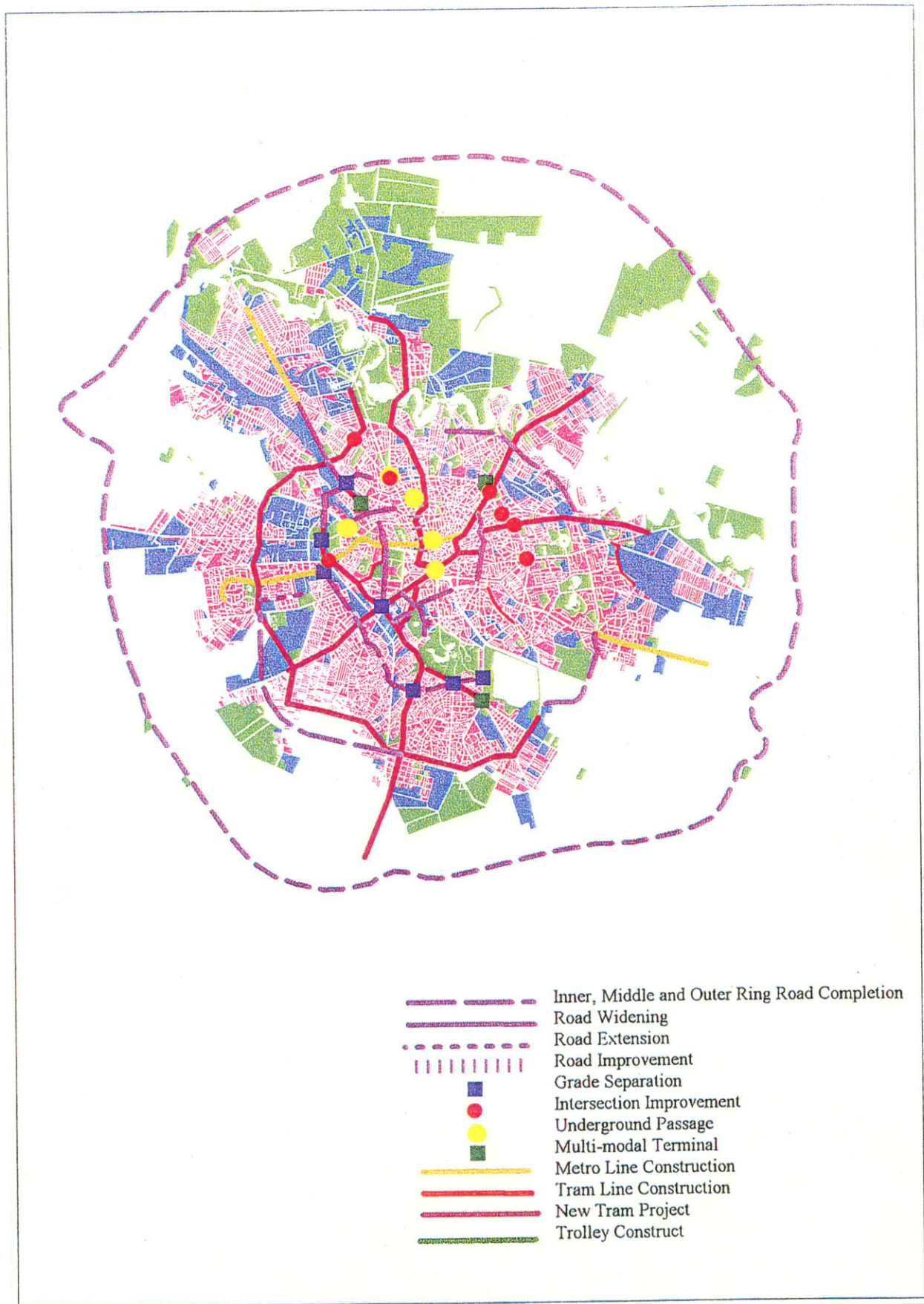


図 8.3 マスタープランのプロジェクト